



発信年月日：令和4年（2022年）12月8日  
所属名：高島農業農村振興事務所農産普及課  
番号：H22011  
部門分類：160（果樹）  
発信者名：今村

## 高島市で柿まつり開催 深清水とつながる 500 名の人々が語らう

11月27日（日）、柿産地のある深清水地域の活性化を目的に、南深清水 FF 倶楽部（会員 23 名）主催の第 5 回目となる柿まつりが開催されました。特産物の柿や地元野菜、オリーブやブルーベリー等の加工品、柿カレーや地元食材の豚汁等々多くの出店や柿の収穫体験がありました。若手柿生産者が「しがの農業経営塾」の学びから商品化したブランド柿も披露され販売されました。

当日は主催者メンバーからの声掛けで、つながりのある人々も県内外から多く集まり、地域の魅力を感じてもらい対話はずむ催しとなりました。また、日頃から交流のある龍谷大学や立命館大学の学生さん約 30 名が、早朝の準備から片付けまでにぎやかに応援されました。

高島市今津町深清水一帯は大正時代から続く 20ha のカキ産地で、近年では数名の若い担い手も育ち活躍されています。収穫などの農繁期には家族総出で若い姿もあり、地域の力を感じる一方、放任園も増えつつありました。そうした園を活用し、平成 30 年から南深清水 FF 倶楽部がオリーブ栽培を開始されるなどの取組も始まっています（現在 300 本、約 1 ha）。

当課は、これからも柿の安定生産や販売促進、園の継承、新規品目オリーブの定着等の支援を含め、農業振興と担い手育成につながる活動を支援していきたいと考えています。



旗揚げ（あさ 8 時）



出店のにぎわい



収穫体験カキ園でのにぎわい



しがの農業経営塾の学びから商品化したブランド柿の販売